

春うらら 福岡堰を染めあげる桜たち

福岡堰さくらまつり開催

今年も「福岡堰さくらまつり」を、桜の開花時期に合わせ開催します。約550本の桜（ソメイヨシノ）が1.8キロメートルにわたってトンネルをつくり、堤に沿って咲いた桜が水面に映る様子も美しく、茨城百景にも選ばれ、毎年多くの花見客でにぎわいます。

また、土、日には特設ステージを設置し、イベントや地元物産販売を行います。

今年も福岡堰で春を満喫しませんか？皆さまでのお越しをお待ちしています。

まつり期間

4月2日(金)～6日(火)

※式典およびイベントは、3日(土)・4日(日)(雨天中止)

イベント会場では、大黒美和子歌謡ショー、キャロライン玉子の大道芸、素人演芸などを行い、地元物産販売や模擬店の出店もあります。

イベント開催期間中の土・日のみ、つくばエクスプレスみらい平駅からさくらまつり会場(水門)までの無料シャトルバスと、会場内(水門)～さくら公園の循環バスを運行します。

ご来場の際のお願い

駐車場は用意していますが、台数に限りがありますので、公



昨年のさくらまつりの様子

ない・させない」ようご協力ください。

問 市観光協会(谷和原庁舎産業政策課内) ☎58・2111(内線8141)

適正で効果的な財政運営を

市補助金等審議会から答申

市が各団体に交付する補助金のあり方や補助額等について、

適正で効果的な財政運営を推進するため「つくばみらい市補助金等審議会(会長・岩佐勝廣氏)」が、このほど、飯島市長へ答申書を手渡しました。

審議会は、市内の識見者3人と議会から3人、市職員3人の計9人で構成され、各団体から提出された補助金要望書を個別に審査し、慎重な審議が行われ、その結果が答申されたものです。



岩佐会長(左)から答申書を受け取る飯島市長(右)

最小の経費で最大の効果を

市行政改革懇談会から答申

市では、簡素で効率的な市政の実現に向けて、市民の広範な意見を反映させるため「つくばみらい市行政改革懇談会(会長・神立精之氏)」が、飯島市長へ答申書を手渡しました。

審議会は、市内の識見者7人と議会から3人の計10人で構成され、今回は、主に、第2次市行政改革大綱および、第2次市集中改革プランについて慎重な審議を行いました。



神立会長(右)から答申書を受け取る飯島市長(左)

火災報知器の無償設置完了

一人暮らしのお年寄り等を対象に

市では、一人暮らしのお年寄りや生活保護受給世帯を対象に、自宅寝室などへ火災報知器の無償設置を1月から2月にかけて行いました。

「そのような恩恵を受けることができて、とてもありがたい。今回、火災報知器を設置していただいたことを機に、あらためて火災には注意したい。」と安堵の様子を浮かべていました。



市内業者の方が設置に協力していただきました